

南-田畑エリア座談会（1回目まとめ）

1 実施日時

令和5年11月15日（水） 18:00~20:00

2 参加者

ほしいも生産組合関係者，JA各生産部会関係者，水利組合関係者，エリアの耕作者及び中心的担い手，東海村農業委員，農地利用最適化推進委員，JA職員，東海村職員（事務局）

計27名

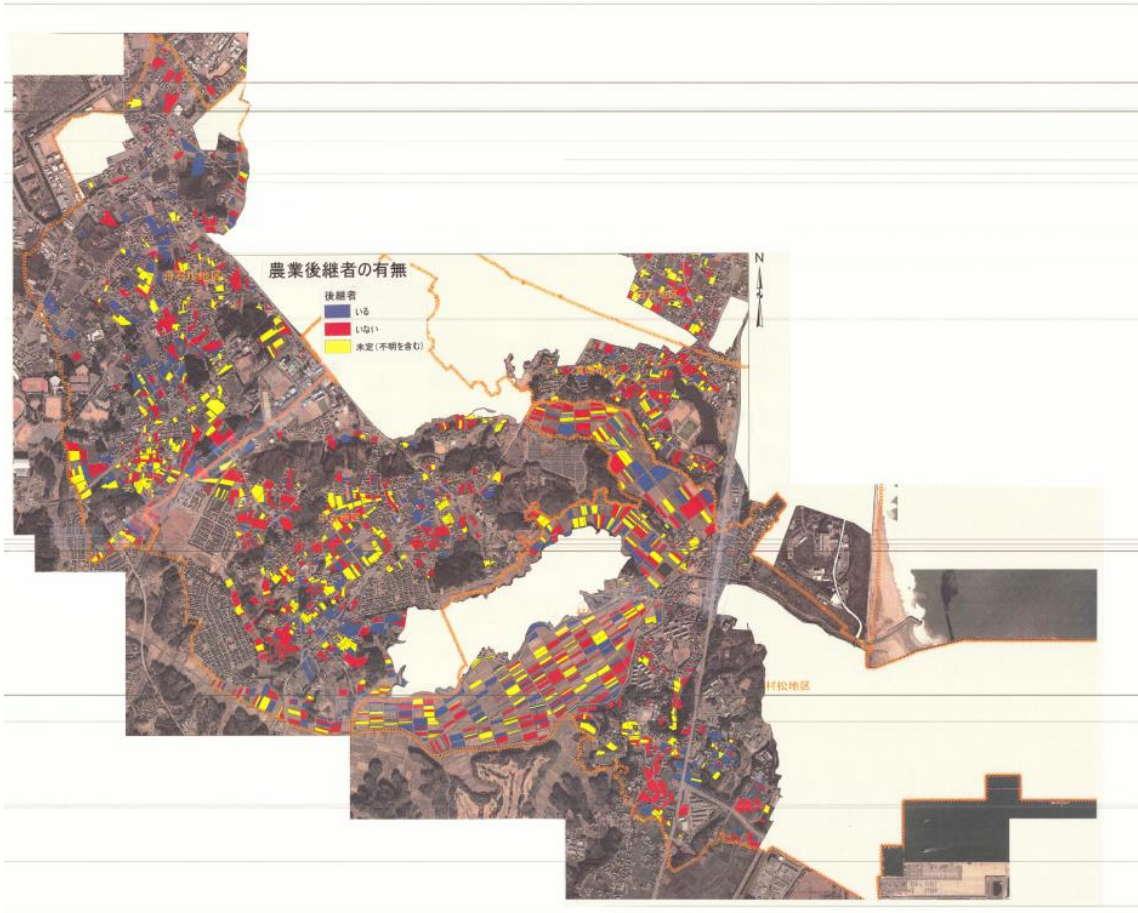
3 内容

（1）現状地図

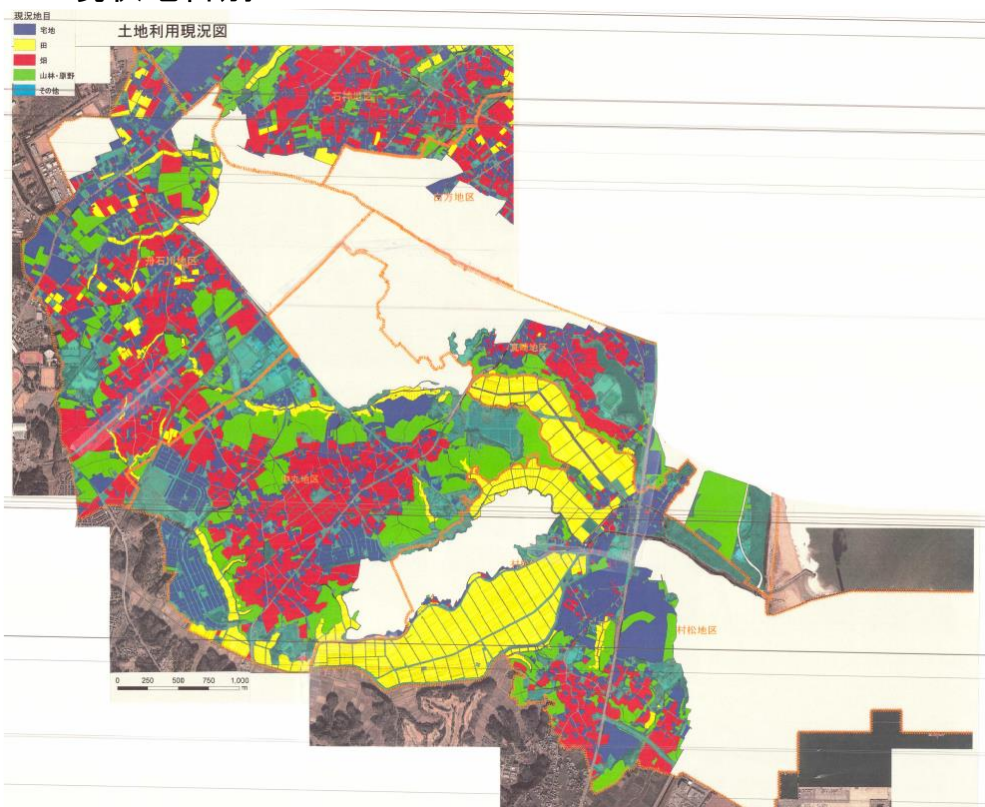
- ・耕作者別



・ 後継者の有無別



・ 現状地目別



(1) 地域農業の現状及び課題

<参加者からの意見>

- ・農業は儲からない。
- ・農業の技術を教えてくれる人がいない。
- ・高齢化の影響で後継者がいない。
- ・畑は土地が余っていない。
- ・畑の貸し借りは土地所有者と耕作者の関係性に左右される。
- ・砂ぼこりや害虫の苦情など、住宅が農地に近いことによる問題がある。
- ・畑の農薬散布の問題がある。
- ・ほしいもの残渣の課題がある。
- ・中間管理機構の制度が周知されていない。
- ・畑の土質が異なる等の要因で、集積集約はなかなか難しい。
- ・機械代や資材代の高騰化。
- ・農地環境が悪い。(農道が狭い、田んぼのポンプの老朽化等。)

<まとめ>

- ・畑を所有する地権者との関係性や、土地を貸したい人借りたい人の情報が少ないことから、土地の賃借に課題がある。
- ・農業による収入が少ない等の問題から、後継者や担い手が少ない。
- ・農業を始める際や拡大する際に技術を教えてくれる人がいない。
- ・住宅地からの農地に関する苦情や農道への配慮がない住民が多い。
- ・農道や農地自体が狭い、ポンプ等の老朽化などの問題がある。

(2) 課題解決に向けた意見

<参加者からの意見>

- ・農地の貸し借りの情報の一本化。
- ・砂ぼこりや病害虫対策への補助金の新設。
- ・一般住民の農業体験の機会を作る。
- ・たい肥工場の誘致。
- ・畑の病害虫の一斉防除。
- ・地権者との関係構築。

<まとめ>

- ・住民の農業体験などを通して、農業に関する理解や知識を深める機会を作る。
- ・若い農業者や拡大意向のある農業者への農作業研修会の開催の検討。
- ・農地の環境整備。(進入路、境木、区画等の整備。)
- ・砂ぼこりや病害虫の対策を強化する。(カバクロや一斉防除等。)
- ・基盤整備により生産効率を高め、担い手の確保や耕作放棄地の拡大防止に努める。

(3) 次回の話し合い時に実施すること (案)

- ・ 1回目の話し合い結果のまとめを参加者間で共有し、行政、農業者、地域、JA、水利組合、農業委員会等、それぞれの機関ができることを洗い出し、課題解決プランを検討する。
- ・ 行政は、農地の集約や後継者等への支援に関する制度概要を整理し、参加者へ情報提供する。
- ・ 具体的な担い手についての目標地図の素案を作成する。

【座談会の様子】

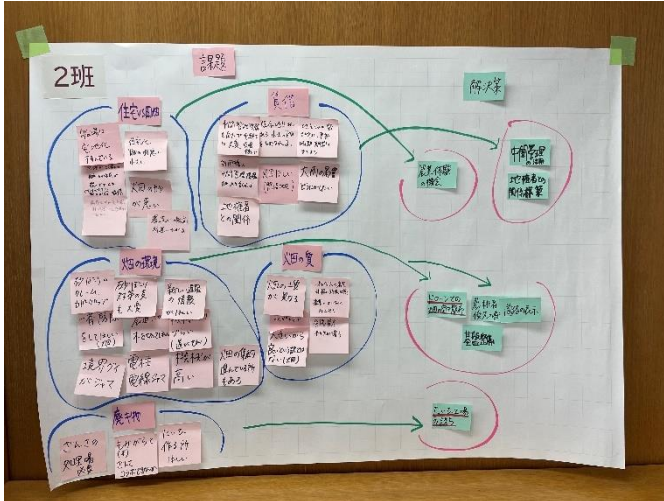
< 1班 >



● 班内で出た意見まとめ ●

- ・ 大きく分けて人、土地、環境の話が出た。
- ・ 高齢化で後継者がいない。
- ・ パートさんも集まらない。
- ・ 農業を始める際や拡大しようとする際に教えてくれる人がいない。
- ・ 土地を紹介してもらえない。
- ・ 一つ一つの畑が小さく、作業しづらい。
- ・ 耕作されていない農地がある。
- ・ 土地の貸し借りは知り合い同士で完結してしまうことが多く、新しい人は借りづらい。
- ・ 畑の中の杭が邪魔になり耕作しづらい。
- ・ 砂ぼこり、虫へのクレームが多い。
- ・ 大雨の際に土が流れてしまう。
- ・ ほしいも残渣についての課題がある。
- ・ 貸したい人と借りたい人の情報が少ない。
- ・ 工業団地の中の農地ではトラックの走行が危険である。
- ・ 5町歩以上をまとめて耕作している人は少ない。

< 2班 >



● 班内で出た意見まとめ ●

- ・畑は宅地化が進んでいるエリアがある。
- ・農道が一般道に勘違いされる。「農耕者優先」の看板が必要。
- ・地域住民の農業体験が必要。
- ・砂ぼこりのクレームが多い。
- ・病害虫の一斉防除をしてほしい。
- ・農道が狭い。
- ・農道にかかる木、電柱や電線が農作業に支障をきたす。
- ・機械が高い。
- ・中間管理機構の手続きが難しい。
- ・畑への大雨の影響が大きい。
- ・ほしいも残渣の処理場が欲しい。たい肥工場を誘致できないか。
- ・畑は場所によって湿気が多いところがある。
- ・有機農業は取り組む方によって方法が異なる。
- ・土質や条件の良い畑は手放したくない。また、反対に条件の悪い畑は手放したいが、引き受けてくれる人がいない。

< 3班 >



● 班内で出た意見まとめ ●

- ・ 細長い田んぼは活用しづらい。
- ・ 作物を作った後の出口，サポート体制が必要。
- ・ 人と人との繋がりが必要。
- ・ 農作業は簡略化していき，後継者を見つけられると良い。
- ・ 若い担い手がいない。
- ・ 砂ぼこりや病害虫の苦情が多い。
- ・ 長く住んでいる方と住み始めて間もない方の考え方の違いがある。
- ・ 農業は収入が少ない。
- ・ 農業用の機械，資材等が高い。
- ・ 農業用の機械は定期的に維持管理が必要。
- ・ 水路等の老朽化。
- ・ 谷津田や細い田んぼは基盤整備が難しい。
- ・ 作物のブランド化が必要
- ・ 村補助金を上げてほしい。

<目標地図作成に向けての作業>

目標地図の作成に向け、各エリアでどのような担い手がいるか意見を出し合った。

